

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	伊江村ハブ対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-ア		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成27～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域特性に応じた生活基盤の整備		
事業内容	本村に生息するハブによる健康被害から、村民及び観光客を守るため、生息地となっている観光地や海岸沿いの清掃を行い、ハブが住処を作りにくい環境を整備する。また、捕獲器を設置しハブの捕獲駆除に取り組む。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 <small>【単位:千円】</small> <small>(「交付金」+「市町村負担」ベース)</small>		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a)当初予算額	5,022	5,000	5,600	5,600	5,600	
	(b)予算現額	2,980	4,330	4,320	4,925	5,078	
	(c)増減額(b-a)	▲ 2,042	▲ 670	▲ 1,280	▲ 675	▲ 522	
	(d)繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	2,980	4,330	4,320	4,925	5,078	
	B. 執行済額	2,980	4,330	4,320	4,925	5,078	
	うち交付金充当額	2,384	3,464	3,456	3,939	4,062	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。入札残及び改定契約により522千円減額した。 減額理由については、捕獲器へ入れるマウスの飼育時における死亡や・追加購入ができなかった(売切れ)ことが原因である。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	ハブ生息地の清掃実施 (26,000㎡清掃)	目標	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	(生息地清掃)	
		実績	清掃完了	清掃完了	清掃完了	清掃完了	
捕獲器の設置 (15基設置)	目標	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)	(捕獲器設置)		
	実績	(捕獲器設置)	設置完了	設置完了	設置完了		
達成状況説明	・ハブの生息地の清掃を行うことにより、観光地の広範囲で安全対策に繋がった。 ・令和元年度において本事業のハブ捕獲器設置によるハブ捕獲実績は3匹であった。 引き続き、区長会や村民によるハブ目撃情報の収集を行い委託業者と情報を共有し捕獲実績を上げたい。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	()	(0件)	(0件)	(0件)	()
	実績			1件	1件	1件	
	目標	()	()	()	()	()	
実績							
進捗状況説明	・平成28年度においては、ハブ咬傷被害件数は0件で成果目標を達成しているが、平成29年度、30年度、令和元年度において(いずれも本事業実施期間中)各1件ずつハブによる咬傷被害が発生しており、目標は達成できなかった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・清掃業務においては、ハブの生息地の清掃を実施し観光地の安全対策に繋がっているが、前年度同様の成果目標であるハブによる咬傷被害0件を達成することができなかった。 理由としては、樹木が生い茂り木の枝などを伝いハブネット(フェンス)の上から侵入してきているものと予測でき、これまでの除草作業のみではハブの侵入を阻止することができないものと思われる。</p>	<p>・捕獲の事業実施期間は150日(5か月)あるが、ハブは冬眠しないため実施期間の延長や捕獲器の数を増やすなどで捕獲数を上げられないか検討したい。</p> <p>・これまでの清掃業務は除草作業が主でありましたが、樹木の剪定、枝打ちなども行いハブの侵入を阻止を検討したい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・青少年旅行村においては多くの観光客や村民が利用する場所であることから、管理委託社と連携を密にし清掃・捕獲の効率化と安全対策を図っていく。 ・別タイプのハブ捕獲器も試験的に設置し捕獲率の向上を図りたい。捕獲業務においては、捕獲器の設置場所や設置数の検討を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,078</td> <td>5,078</td> <td>4,062</td> <td>1,016</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,078	5,078	4,062	1,016		<pre> graph LR A[伊江村 5,078千円] --> B[委託料 5,078千円] B --> C[島幸建設株式会社 (清掃・捕獲業務) 5,078千円] C --- D(伊江村ハブ対策事業 (清掃・捕獲業務)) </pre>		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,078	5,078	4,062	1,016											
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法として村の格付土木B(造園工)を抽出し入札を執行していることから妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、設計書をもとに予定価格を設定し執行していることから妥当であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○業務後の検査において、書面及び現場確認検査を実施し、適正に事業を執行していると判断されたことから、事業目的に即した費目及び使途であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	村立保育所整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ			
担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	令和元年～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域における子育て支援の充実		
事業内容	幼児が安心・安全で快適に過ごせる保育環境、多様化する保育ニーズへの対応、保護者の子育てと就業の両立が可能となる環境を整備するための用地取得及び実施設計を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R3年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	54,511				
		(b)予算現額	49,077				
		(c)増減額(b-a)	▲5,434	0	0	0	0
		(d)繰越額	—				0
		A.計(b+d)	49,077	0	0	0	0
	B.執行済額		49,077				
	うち交付金充当額		39,261				
	次年度繰越額		0				0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算の範囲内で適正な事業執行ができた。なお、当初予算からの減額(▲5,434千円)については、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・用紙取得の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	・実施設計の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
達成状況説明	R1年度は実施設計・用地取得を行い次年度は施設整備を行う。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
	・用地取得事務の完了	目標	()	(完了)	()	()	
		実績		完了			
	・実施設計の完了	目標	()	(完了)	()	()	
		実績		完了			
	【R3成果目標】 待機児童ゼロ	目標	()	()	()	(待機児童ゼロ)	
		実績					
進捗状況説明	令和元年度は実施設計及び用地買収を行った。令和2年度で保育所の工事(建築・土木・電気・機械・備品)を実施し、令和3年度4月1日からの開所を目指している。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・保護者子育てと就労が両立できるよう、育児サークルなどと連携を図り、環境整備を促進する。</p>	<p>・R2年度の施設整備について、子育て世代のニーズを的確にとらえた保育所を建築する必要がある。 ・保育所の質の向上を心掛け、職員の研修や父母との連携を積極的に行い幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる環境づくりに努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・子育てと就労が両立できる環境を促進し、幼児が安心・安全で快適に過ごすことができる保育所を目指す。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	49,077	49,077	39,261	9,816	
<pre> graph LR A[伊江村 49,077千円] --> B[公有財産購入費 22,394千円] A --> C[委託料 26,683千円] B --> D[個人(1名) 22,394千円] C --> E["(株)大友設計 13,860千円"] C --> F["(有)丸吉測量設計 12,823千円"] D --- G["〔 保育所用地購入費1筆 〕"] E --- H["〔 建築実施設計業務(建築) 〕"] F --- I["〔 周辺整備設計業務(土木) 〕"] </pre>					
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明		
資金の用途の点検・評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定方法については、一般競争入札により選定しており、妥当である。		
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、目的に即した事業内容で実施できたことから、適正である。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途についても検査した結果、適正と判断した。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	伊江村自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	公営企業課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減	
事業内容	離島である本村は、沖縄本島との交通機関は船に頼らざるを得ず、経済的な不利性をもたらす割高な航路運賃は、移動の大きな障害となっている。このため、自動車航送コスト負担軽減について往復1台あたり810円の支援を行うことで、定住条件を改善し、「住みよい村づくり」の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	12,000	12,960	14,580	14,013	14,175
	(b) 予算現額	13,702	14,220	14,215	14,923	15,866	
	(c) 増減額(b-a)	1,702	1,260	▲ 365	910	1,691	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	13,702	14,220	14,215	14,923	15,866	
	B. 執行済額	13,702	14,074	14,143	14,923	15,866	
	うち交付金充当額	10,961	11,215	11,314	11,938	12,692	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.0%	99.5%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	当初17,500台程度の補助を予定していたが、見込みを1,900台以上上回り、1,691千円の増額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	車両航送に対する運転手1名分の運賃補助	目標	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	(支援実施)	
		実績	支援実施	支援実施	支援実施	支援実施	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	・車両航送1台につき運転手1名分(4月～9月:810円、10月以降:820円)の補助を行った。 ・平成26年度から開始した事業だが、年々航送実績が伸び続けている。平成29年度は天候不良による欠航があり微増となっていたが、30年度は1,100台以上の増加、さらに令和元年度は1,900台以上の増加及び補助を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
			()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、村民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	()	()
		実績		80%	100%		
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	本事業へのアンケートを行った結果、移動しやすい環境になったかの間に「とても実感している」「やや実感している」との回答が100%となっている。また、今後も継続してほしいとの回答についても100%となっており、住民への負担軽減が定住条件の改善や住みよい村づくりへ繋がっているものと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果において、今後も継続したほうが良いとの回答が100%であった。 これまで村ホームページ及び広報誌により当該事業の周知に取り組んできたことから、村民への認知度も向上している。 	<ul style="list-style-type: none"> 年々、利用台数が増加傾向にあることから見込台数についての検証が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き村ホームページ及び広報誌等により当該事業の実施について、地域住民へ周知するとともに、本島へ移動しやすい環境の構築を図る。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	15,866	15,866	12,692	3,174	
<pre> graph LR A[伊江村 15,866千円] --> B[補助金 15,866千円] B --> C[公営企業課 15,866千円] subgraph D [] C --- E[補助金 車両航送に対する補助] end </pre>					

資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は唯一の航路事業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率が100%となっており、補助対象者全ての事業を執行する事ができており、適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については予定通りであり、実績報告・検査を実施したところ、目的に即し適正なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	④-1	村花・世界のゆり植栽推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和2年	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村の基幹産業である観光産業を継続的に発展させていくため、世界のテッポウユリと世界のゆり球根の購入・植栽を行い、「伊江島ゆり祭り」において様々なイベントを実施することで、観光入域客の増加及び満足度の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,000	3,000	3,000	3,000	19,800
		(b) 予算現額	2,938	2,972	2,874	2,998	27,137
		(c) 増減額(b-a)	▲ 62	▲ 28	▲ 126	▲ 2	7,337
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	2,938	2,972	2,874	2,998	27,137
		B. 執行済額	2,938	2,972	2,874	2,998	27,129
		うち交付金充当額	2,350	2,377	2,299	2,398	21,702
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	当初予算からの増額分(7,337千円)については、「伊江島ゆり祭り」におけるシャトルバスの運行及び駐車場への警備員配置に係る委託料によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	・テッポウユリ及び世界のゆり球根70,000球	目標	(ユリの球根購入 50,000球)	(ユリの球根購入 50,000球)	(リーフィールド公園へ植栽 50,000球)	(ユリの球根購入・植栽 70,000球)	
		実績	ユリの球根購入 50,500球	ユリの球根購入 22,400球	リーフィールド公園へ植栽 33,691球	ユリの球根購入・植栽 70,191球	
	・「ゆり祭り」における無料送迎バス、花火・プロジェクションマッピング等のイベントの開催	目標	(ユリの球根購入 20,000球)	(ユリの球根購入 20,000球)	(リーフィールド公園へ植栽 20,000球)	(イベントの開催)	
		実績	ユリの球根購入 20,000球	ユリの球根購入 40,000球	リーフィールド公園へ植栽 36,500球	イベントの開催実施	
達成状況説明	・テッポウユリ球根33,700球、世界のゆりの球根36,500球を購入しゆり祭り会場であるリーフィールド公園へ植栽した。花は順調に開花し『第24回伊江島ゆり祭り』イベントの向上を図る事が出来た。 ・ゆり祭りにおいて、無料送迎バス、花火、プロジェクションマッピング等のイベントを開催した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(28年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)	
			(33,000人)	(31,000人)	(29,000人)	(33,000人)	
	第24回伊江島ゆり祭り来場者数 R1年29,000人	目標	(33,000人)	(31,000人)	(29,000人)	(33,000人)	
		実績		30,000人	30,000人	36,000人	
	成果目標(指標)及び進捗状況	目標	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	・R1年度の成果目標である29,000人に対し実績36,000名の誘客を図る事が出来た。世界のゆりも好評で来場者には好評を得ており、今後も新たな目玉として継続していきたい。						

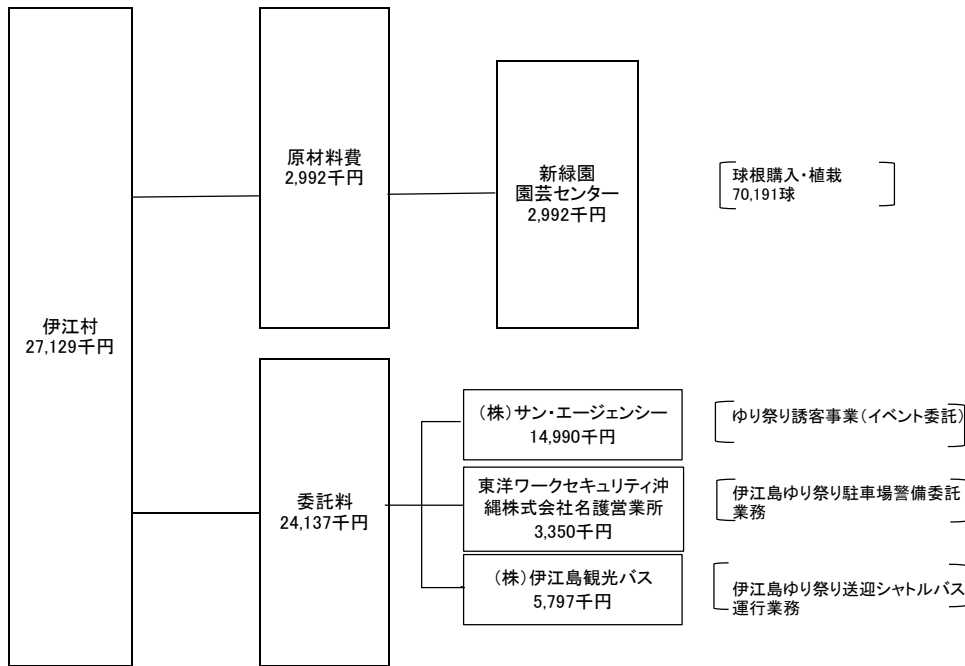
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・植え付け時期等、品種によって違うため、購入時期を慎重に検討していくことが必要である。 ・古い球根や、去年の球根の植栽においては疫病に係りやすく他の球根まで波及する恐れがある事から、今後も新たな球根を更新していく必要がある。 ・観光客は新品種や、珍しい品種を探している方が多く見受けられるので毎年違った品種を育成する事で観光客の誘客に繋げる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球根の選別や、疫病等の消毒作業、必要数等、仕入れ業者との綿密な調整を行う。 ・今後、新たな目玉となるような品種の導入を検討し、観光誘客の向上に繋げる。

今後の取り組み方針

・球根によっては植え付け時期によって開花予定の日が決まってくるため、開花予定日数を逆算し、植え付けを開始する。球根の導入時期について綿密に調整を行い、購入スケジュール立てる。
 ・品種の選別を行い、必要数を把握する。疫病予防の消毒作業も随時行う。
 ・新品種の球根を導入することにより、「ゆり祭り」の魅力さをさらに向上させ、観光誘客に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,129	27,129	21,702	5,427	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選択した業者は70,000球以上の球根を短期間に調達できる唯一の業者であり、選択は妥当であると考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○見積を徴収し決定したので予算規模、事業内容とも適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	観光地クリーン事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年～令和2年		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受け入れ体制整備	
事業内容	観光地の環境美化及び保全をし、観光地に景観形成と観光客の受け入れ態勢を強化する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	18,000	18,000	21,000	20,100	20,800
	(b) 予算現額	20,147	21,466	19,846	17,881	20,731	
	(c) 増減額(b-a)	2,147	3,466	▲ 1,154	▲ 2,219	▲ 69	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	20,147	21,466	19,846	17,881	20,731	
	B. 執行済額	20,147	21,466	19,846	17,737	20,731	
	うち交付金充当額	16,117	17,173	15,877	14,189	16,584	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	100.0%	
予算の状況の説明	4月時点で13名、6月に2名増員の15名雇用していたが途中、2名入院した為、入院期間中の賃金を削減した。そのため、69千円の減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	環境美化保全作業人 15名雇用	目標	(作業員14名)	(作業員16名)	(作業員16名)	(作業員15名)	
		実績	作業員16名	作業員17名	作業員14名	作業員15名	
	観光地管理委託(3箇所:4月～10月)	目標	()	()	()	(3箇所)	
実績					3箇所		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・4月時点で13人雇用しており、6月から2名増員され、活動目標の作業人15名雇用を達成することができた。 ・観光地管理委託については、リリーフィールド公園、ミースイ公園、青少年旅行村の3箇所の管理委託を実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(28年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
		目標	(70%)	(80%)	(80%以上)	(80%以上)	()
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	実績		70%	100%	100%	
		目標	()	()	()	()	()
	実績						
進捗状況説明	観光客に対して、アンケート調査をした結果、景観形成が図られたとの回答が100%であり、目標値の80%以上を達成することができた。						

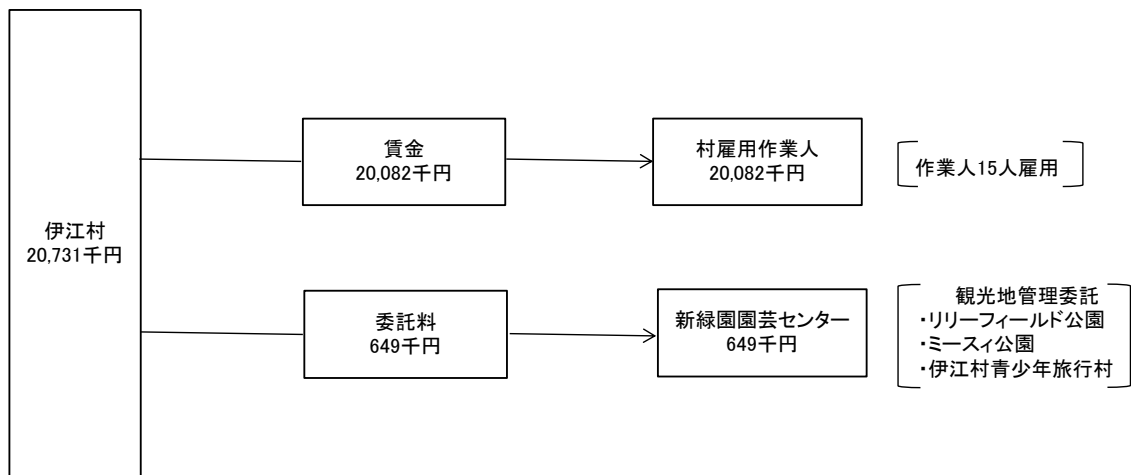
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・観光地の継続的な環境美化及び保全に努めることで、観光地の景観形成体制を強化することができた。また、活動目標である作業人15名雇用を達成することが出来たため、今年度は効率的な作業ができたと考えている。</p>	<p>・敷地の広い観光地については除草作業に時間がかかるため、必要に応じて作業場所の選定を行う必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・令和2年度からは民間事業所への委託になるため、観光地美化による作業の日程調整を行い、作業場所の優先順位付けを行い、作業効率化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,731	20,731	16,584	4,147	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○伊江村賃金職員雇用管理規則に基づき雇用している作業人であり妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であったと考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

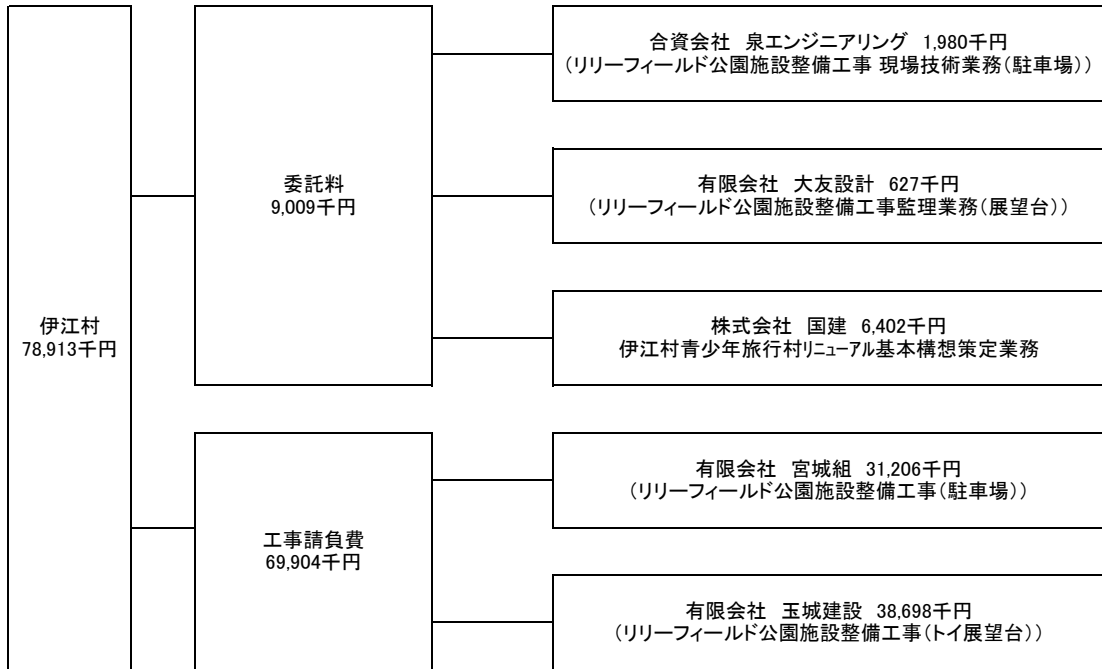
市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③		観光客誘客環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	商工観光課		事業実施(予定)年度		平成26年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
事業内容		伊江村にある観光施設、リリーフィールド公園、伊江村青少年旅行村基本構想策定を行うことで伊江村の観光振興の向上を図る。					
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和元年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	109,047	61,700	94,450	105,000	125,984
		(b) 予算現額	122,105	201,937	96,071	100,505	78,913
		(c) 増減額(b-a)	13,058	140,237	1,621	▲ 4,495	▲ 47,071
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		122,105	201,937	96,071	100,505	78,913
	B. 執行済額		122,105	201,937	96,071	100,505	78,913
	うち交付金充当額		97,683	159,859	76,857	80,403	63,130
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		当初予算額より47,071千円減額しているが、主な要因として、リリーフィールド公園遊歩道整備工事が、村の有識者の会議によって、遊歩道の設置場所の再検討案が出た為、今年度の整備工事を見合わせたことによる減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	リリーフィールド公園施設整備	目標	(実施設計)	(整備工事(駐車場、便益施設))	(公園施設整備)	()	
		実績	実施設計完了	整備工事完了(駐車場、便益施設)	公園施設施設整備完了		
	伊江村青少年旅行村基本構想策定	目標	()	()	(基本構想策定)	()	
		実績			基本構想策定完了		
達成状況説明	リリーフィールド公園整備工事については、公園南側に大型バス待機駐車場、公園中央には展望台を整備した、また、伊江村青少年旅行村リニューアルにむけて、基本構想を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	(リリーフィールド公園)施設整備完了	目標	()	(実施設計)	(整備工事(駐車場、便益施設))	(施設整備)	()
		実績		実施設計完了	整備工事完了(駐車場、便益施設)	施設整備完了	
	(伊江村青少年旅行村)基本構想策定完了	目標	()	()	()	(基本構想策定)	()
		実績				基本構想策定完了	
	(令和元年度)駐車場のアスファルト舗装、トイレの新設によりリリーフィールド公園の利便性が向上したか(80%以上)を含め、公園来場者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()			(80%以上)	()
実績					100%		
進捗状況説明	・リリーフィールド公園南側に大型バス待機駐車場、公園中央には展望台を整備し、青少年旅行村のリニューアル基本構想を策定することで、伊江村に訪れる一般観光客又は修学旅行といった団体客等が安全・快適に観光してもらおう受入体制を強化することができた。 ・駐車場のアスファルト舗装及びトイレの新設について、アンケート調査を行った結果、利便性が図られたとの回答が100%であり、目標値である80%以上を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・リリーフィールド公園について、大型バス駐車場や展望台を整備したことにより、利便性が向上したことを一般観光客や修学旅行生の団体等に周知し、さらなる観光誘客に力を入れる必要がある。</p>	<p>・リリーフィールド公園への更なる誘客を図るため、伊江島ゆり祭り等において魅力的なイベントを実施するとともに、継続して魅力的な公園整備に取り組んでいく必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・地域住民及び有識者の意見を踏まえながら、今後も伊江村の観光施設整備し、さらなる観光客の受入体制を強化することで、伊江村の観光振興の向上につなげたい。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
78,913	78,913	63,130	15,783	



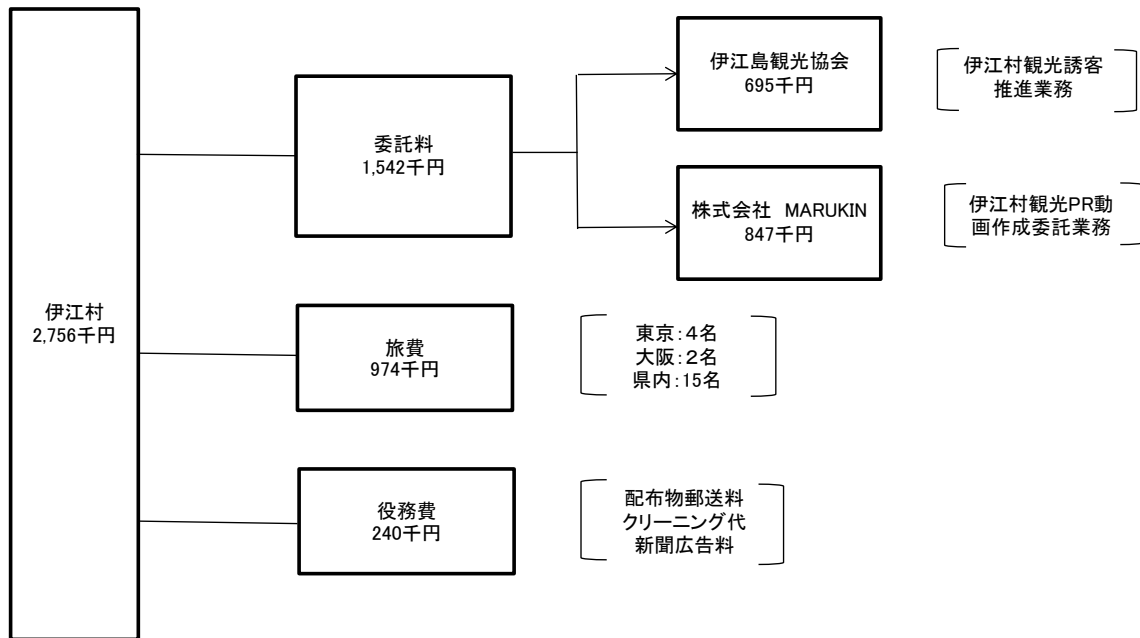
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○業者選定は一般競争入札より選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○入札残は減額し、不用額もないことから予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	観光誘客推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3-3-(2)-1		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	令和元年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客受入体制の整備		
事業内容	継続的な観光振興を促進するため、県内外で開催される観光イベント等でのPR活動や観光情報を発信し、伊江村の認知度向上を図り、観光誘客へつなげる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	3,451					
	(b) 予算現額	2,756					
	(c) 増減額(b-a)	▲695	0	0	0	0	
	(d) 繰越額	-					
	A. 計(b+d)	2,756	0	0	0	0	
	B. 執行済額	2,756					
	うち交付金充当額	2,204					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	台風の接近により参加できなかったイベント(修学旅行フェア)があり、696千円の減額を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	県内外の観光イベント等でのPR活動	目標	(イベント等PR活動)	()	()	()	
		実績	イベント等PR活動実施				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	下記イベントにてPR活動を行い、認知度向上を図った。 4月:マリンダイビングフェア(県外) 5月:OKINAWA祭り(県外) 10月:やんばる産業まつり(県内) 10月:ツーリズムエキスポ(県外) 11月:離島フェア(県内)						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	集客イベントでのブース来場者数 県内:500人以上(各イベント毎) 県外:1,000人以上(各イベント毎)	目標	() (ブース来場者数 県内:500人以上 県外:1,000人以上)	()	()	()	()
		実績	() (ブース来場者数 県内:500人以上 県外:1,000人以上)				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
進捗状況説明	4月:マリンダイビングフェア(県外) 1,050部 5月:OKINAWA祭り(県外)1,200部 10月:やんばる産業まつり(県内)600部 10月:ツーリズムエキスポ(県外)1,200部 11月:離島フェア(県内)1,000部 成果指標である県内500人、県外1,000人の来場者数を超える結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・令和元年度のイベントに関しては、PR活動に力を入れたことが、県内500人以上県外1,000人以上の成果目標達成の要因と考えられる。</p>	<p>・事業執行(イベント参加)できなかったイベントがあるためしっかりと日程調整を行い全イベントに参加することで更なる認知度向上を目指す。</p>
今後の取り組み方針		
<p>伊江村の認知度向上、観光誘客に向けたPR活動を引き続き行うことで更なる観光誘客に繋げていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,756	2,756	2,204	552	



資金の流 れ、 点 検、 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○イベントに合わせ参加人数等を調整し、支出金額を算出した為支出先の選定方法としては妥当であったと考える。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であったと考えられる。 ○費用・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認し、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	確かな学力を育む学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
	担当部課名	伊江村教育委員会教育行政課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充 Ⅲ-3-(1)
事業内容	小中学校への免許外教科担当の解消と専科教諭の配置、児童生徒1人1人に「確かな学力」を身につけさせるための学習支援員の配置、更には発達障害など様々な障害がある児童生徒に対し特別支援教育支援員などの配置を行い、自立し生きていく為の土台づくりを行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
		(a)当初予算額	19,440	20,304	20,304	15,876
	(b)予算現額	20,536	19,590	16,143	14,828	13,940
	(c)増減額(b-a)	1,096	▲714	▲4,161	▲1,048	▲1,936
	(d)繰越額	-	-	-	-	-
	A.計(b+d)	20,536	19,590	16,143	14,828	13,940
	B.執行済額	20,536	19,590	16,143	14,828	13,940
	うち交付金充当額	16,429	15,672	12,914	11,862	11,151
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。 (c)増減額▲1,936千円については、病欠等により出勤日数が減ったことによる減額である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	小学校(2校6人配置)	目標	(2校8名)	(2校8名)	(2校6名)	(2校6名)
		実績	2校8名	2校6名	2校8名	2校7名
中学校(1校3人配置)	目標	(1校4名)	(1校4名)	(1校3名)	(1校3名)	
	実績	1校4名	1校3名	1校3名	1校3名	
達成状況説明	学習支援員配置について、小学校に7名、中学校に3名の学習支援員を配置し、目標を達成することができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
		目標	()	正答率50%未満 小学校10%以下 中学校各教科30%以下	県平均正答率との差 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上	県平均正答率との差 小学校5ポイント以上 中学校3ポイント以上
	実績	正答率30%未満の割合 ○小学校3年 国語:0% ○小学校4年 算数:11.7% ○小学校5年 国語:0% ○小学校6年 算数:6.1% ○中学校1年 数学:43.2% ○中学校2年 国語:0% 社会:16.7% 数学:33.4% 理科:52.4% 英語:23.8%	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語:-4.6 算数:-2.9 ○小学校4年 算数:-1.8 ○小学校5年 国語:-4.1 算数:-4.4 理科:-14 ○小学校6年 算数:+11.9 ○中学校1年 数学:-6.8 ○中学校2年 国語:-3.7 社会:-5.8 数学:-1.5 理科:-0.3 英語:-0.8	県平均正答率との差 ○小学校3年 国語:+3.3 算数:-3.3 ○小学校4年 算数+3.6 ○小学校5年 国語:-1.3 算数:-0.1 理科:-3.9 ○小学校6年 算数:-15.8 ○中学校1年 数学:+3.6 ○中学校2年 国語:-2.9 社会:+3.0 数学:+4.6 理科:-0.3 英語:+6.1	()	
進捗状況説明	・令和元年度に行われた県到達度調査において、成果目標を達成できたのは、中学校1年の数学+3.5、中学校2年社会+3.0、数学+4.6、英語+6.1で県平均3ポイント上回る事ができた。また小学校3年国語+3.3、小学校4年算数+3.6など成果目標の5ポイント以上を達成できなかったもののそれに迫る正答率であった。全ての教科において、目標達成には至っていないが、概ね改善が見られる結果になった。					

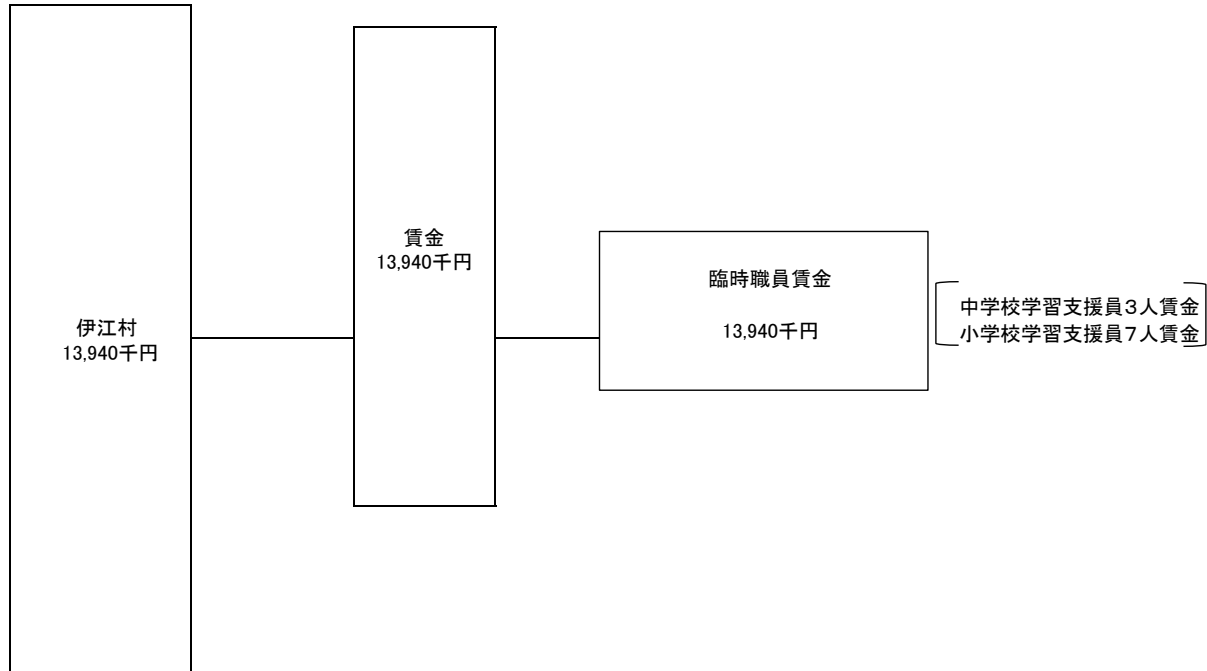
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>達成できなかった要因 (小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小3・小5・小6において、県平均を上回ることができなかった。特に小6においては、-15.8と低く、また無回答率も高かった。また、基礎学力の定着に向けた取り組み及び個々の実態に応じた適切な学習支援が必要である。 <p>(中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語、理科において県平均を下回った。読解力に課題があり、題意を理解することに課題がみられた。特に理科においては、理科学用語を使った説明に難がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・担任・教科担任の授業改善が進み、各学校における校内研修での取組が数値として表れている。また、担任・教科担任だけでなく、学習支援員がきめ細かな学習支援を行うことで、困り感を感じている児童生徒の学習意欲向上へとつながっている。 ・小学校中学年において、無答率の高さが伺え、単元において得意不得意が顕著に表れている。そのことを踏まえ、学習に遅れのある児童生徒への支援について、学習支援員を活用することで、課題解決へ結びつける。

今後の取り組み方針

- ・毎月開催している、村主催の学習支援員研修会において「困り感」のある児童生徒へのアプローチの方法を、先行事例や学習支援員同士での学びによる、資質向上に努める。
- ・学習支援員と担任や教科担任との連携を図り、学習状況の進捗状況や児童生徒の学習意欲の情報共有を常に行うことで、共通理解のもと学習を進めることができる。
- ・今後も学習支援員の安定的な確保に努め、児童生徒の基礎学力の向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	交付対象外経費	
13,940	13,940	11,151	2,789	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、伊江村賃金職員雇用管理規則等に基づき、有資格者等を適正に選定、任用しており妥当なものとする。 ○すべての学校において、目標数の支援員を配置することができ、予算規模は適正であったと考える。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	各種大会派遣費助成事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第3章-5-(2)-ア		
担当部署名	伊江村教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成25年～令和3年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	本村の児童生徒のスポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費について支援する。						
効果発現年度	■当年度 後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,550	3,700	3,700	3,700	4,400
		(b)予算現額	3,917	3,671	4,094	2,043	3,918
		(c)増減額(b-a)	▲633	▲29	394	▲1,657	▲482
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	3,917	3,671	4,094	2,043	3,918
		B.執行済額	3,917	3,671	4,094	2,043	3,918
		うち交付金充当額	3,133	2,936	3,275	1,205	3,134
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	前々年度の実績を見込み予算計上をしていたが、2、3月の大会申請の件数が減ったため、482千円の減額を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	各種大会派遣費の助成 1,000人(単年度)	目標	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	(派遣費の助成)	
		実績	助成実施	助成実施	助成実施	助成実施	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	児童・生徒の競技力の向上とともに、県代表に選出される児童生徒が多く目標数より大幅な増加となった。児童生徒等の技術力の向上とともに、スポーツ面のみならず文化活動でも活躍した。 県外派遣 中学生 31名、小学生 11名 村外派遣 中学生 952名、小学生 1,145名						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			未実施	88.6%	
	【参考指標】 ・各種大会派遣人数:1,000人	目標	()	(1,000人)	(1,000人)	(1,000人)	()
		実績		1,962人	907人	2,139人	
進捗状況説明	保護者へのアンケートにおいて「視野が広がったか」の質問に対して、「思う」、「そう思う」と答えた方が88.6%であった。このことから、技術力・競技力の向上や、交流の機会を増やすことで、「勝ちたい」、「競いたい」という気持ちが上がり、村外の児童生徒の視野が広がった。今後の様々な環境で活動を行うことにより生きる力や技術力向上に繋がることが期待される。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのアンケートにおいて「視野が広がったか」の質問について、「思う」、「そう思う」と回答が多く占め、交流の機会を増やすことで、「勝ちたい」、「競いたい」という気持ちが高まり、技術力・競技力などの向上が図れた。 ・本事業に係る、研修会を行うことで対象経費の審査に関わる添付資料の不備による実績報告の遅れを防げたことが目標達成の要因と考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を踏まえ、スポーツ、文化活動等において、地区大会や県大会等への派遣旅費機会を増やす。また、アンケートの回収に課題があるため学校及び保護者へ協力し多くのアンケート用紙を回収できるよう取り組む。 ・各種競技の申請者(会計担当者含む)を集め、本事業に係る研修会を引き続き行い対象経費に関する共通理解を持ってもらう。また、消費税増加に伴い社会的環境においてキャッシュレスでの精算が多く見られた。本村では対象外経費と取扱いしているため周知する。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・各種競技の申請者は、毎年変わるため事務手続きの注意事項や申請漏れがないよう、研修会を年度始めに行う。 ・保護者へ児童の視野が広がったかどうかの検証について、アンケート内容を保護者のみならず参加する児童生徒及び指導者にもアンケート調査を実施する。また、アンケート調査を各競技別ではなく学校を通じて配布や回収に協力していただく。 		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th> <th>交付対象事業費</th> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> <th>交付対象外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">3,918</td> <td style="text-align: center;">3,918</td> <td style="text-align: center;">3,134</td> <td style="text-align: center;">784</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,918	3,918	3,134	784	0			
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,918	3,918	3,134	784	0										
<pre> graph LR A[伊江村 3,918千円] --> B[補助金 3,918千円] B --> C[伊江村スポーツ少年団 1,150千円] B --> D[伊江中学校 2,768千円] C --- E[村外派遣に係る補助 船賃・車両航送料・宿泊・航空賃・交通費] D --- F[村外派遣に係る補助 船賃・車両航送料・宿泊・航空賃・交通費] </pre>														
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
資金の流 れ、費 目・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○[伊江村児童生徒等の大会派遣等に関する補助金交付要綱]に照らし合せ、補助対象者を適正に選定しており、妥当であったと考えている。 ○助成対象者を適正に選定していることもあり、執行率は100%であるため、予算規模は適正であったと考えている。 ○補助金交付要綱に基づき受益者負担を行っており妥当であったと考えている。 ○交付額の確定時において支出等に関する書類により確認しており、適正であった。 											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	伊江村型就業意識向上支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-カ 沖縄県産業・雇用拡大県民運動(みんなでグッジョブ運動)の推進		
担当部課名	教育委員会 生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(2)		
事業内容	中学を卒業と同時に親元を離れ、島から旅立つ子ども達のために、早い段階からジョブシャドウイングや職業人講話、卒業生トークライブをとおして将来の夢や目標を持つとともに、自立に向けた自己イメージの習得、及びキャリア教育と就業意識の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	(a) 当初予算額	3,993	5,125	5,794	5,800		
	(b) 予算現額	3,392	5,064	5,676	5,800		
	(c) 増減額(b-a)	▲601	▲61	▲118	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	3,392	5,064	5,676	5,800		
	B. 執行済額	3,392	5,064	5,676	5,800		
	うち交付金充当額	2,713	4,051	4,100	4,640		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	当初計画どおり、事業を執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	小学6年生企業訪問体験	目標	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	(訪問・体験開催)	
		実績	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	訪問・体験の実施	
	中学1年生職業人講話	目標	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	(講話の開催)	
		実績	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	講話の開催実施	
	中学2年生、中学3年生卒業生による進路講話	目標	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(進路講話開催)	(進路講話開催)	
		実績	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	進路講話の開催実施	
	中学生みりよく発見隊	目標	()	(みりよく発信)	(みりよく発信)	(みりよく発信)	
		実績		みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	みりよく発信の実施	
中学1年生職場体験前のフォロー	目標	()	()	(小学生30名、中学生129名の参加)	(体験前のフォロー)		
	実績			小学生30名、中学生129名の参加	体験前のフォロー実施		
達成状況説明	・小学生では事前学習から始まりジョブシャドウイング事後学習及び発表会を行い、村内で見ることのない職業を体感することが出来た。 ・中学校では全校生徒を対象にさまざまな職種の方を招き、中学卒業から今の仕事に就くまでの経過や心境を聞くことができた。 ・高校生を講師として高校生活に必要な事、これからの目標、一人暮らしの体験などを聞くことができた。 ・学校推薦により選抜された中学生が、離島フェアの伊江村関連企業ブースで、観光や特産品の魅力を来場者に伝える販売体験を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R5年度)	
	就業意識が向上したか(80%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業へのあり方を検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			98%	98%	
	【参考指標】 企業訪問・体験(小学生)6年生95%	目標	()	(95%)	(95%)	(95%)	()
		実績		100%	97%	97%	
【参考指標】 職業人講話(中学1・2年生)90%	目標	()	(90%)	(90%)	(90%)	()	
	実績		100%	98%	98%		

成果目標 (指標) 及び進捗状況	【参考指標】 卒業生による進路講話(中学3年生)90%	目標	()	(90%)	(90%)	(90%)	()
		実績		100%	95%	95%	
	【参考指標】 島のみりよく発見隊(中学生)90%	目標	()	(50%)	(90%)	(90%)	()
		実績		0%	100%	100%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・全児童を対象に事前・事後学習を行い、村外でのジョブシャドウイングを実施することにより村内で見ることのできない職業を観察する事ができた。 ・全中学生を対象に村内在住の方や村外で活躍する村内出身者を講師として、中学卒業後から現在の職業に就くまでの過程・体験談をとおして、どのように目標を探していくか等、中学校生活や進路選択について講話を実施した。その後のアンケートでは、とても良かった・良かったと回答した割合が78%あり、仕事に対する考えを学ぶ事ができた。 ・高校生を講師として中学生を対象に高校生活に必要な事、一人暮らしの大変さ、今後の目標設定等の講話を実施し、15歳で親元を離れることの大変さや周りの協力の大切さなど、経験した先輩方から貴重な話を聞くことが出来き自分自身の将来をイメージするきっかけとなった。 ・島のみりよく発見隊については、離島フェア2019に参加してもらい、伊江村関連企業ブースで、観光や特産品の魅力を来場者に伝える販売体験と、その事前・事後学習を通して、村の魅力を再発見する取組ができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生ジョブシャドウイングについては、事業の趣旨が企業へ認知されつつあり、賛同して協力していただける企業が年々増加している。 ・島のみりよく発見隊では、児童生徒が自ら商品開発まで行い新たな特産品を開発することが期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業人講話においては、これまで主に村出身者を招聘し講和を行ってきたが、様々な職種を紹介するうえでも、村出身者に限らず人選を行っていく。 ・児童生徒が作る島の特産品を開発することが、村民から期待されていることから、商品開発プログラムの検討が必要である。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・同事業を継続して行っていくことが、村内の児童・生徒に対する就業意識向上に繋がり、将来の本村を担う人材育成に繋がると考える。 ・今後は、児童・生徒に島の魅力を発見しながら、村内の特産品等を使用し、商品開発まで繋げる取り組みに繋げていく。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費 5,800	交付対象 事業費 5,800	交付金 充当額 4,640	市町村 負担金 1,160	交付対象 外経費
伊江村	委託料 5,800千円		株式会社 ケイオーパートナーズ 5,800千円		
	(伊江村型就業意識向上支援事業委託)				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託先についてはプロポーザルにより業者を選定しており、妥当である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○予算規模は、全ての事業を執行しており、適正である。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	伊江村小学校ICT機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の情報端末操作技術の向上を図るため、小学校に教育用パソコンを整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	60,883				
		(b) 予算現額	60,500				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 383				
		(d) 繰越額	—				
		A. 計(b+d)	60,500				
		B. 執行済額	60,500				
		うち交付金充当額	42,350				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	当初の計画通り予算を適正に執行できた。 (c)増減額の▲383千円については入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	小学校2校へパソコンを整備	目標	(小学校2校)	()	()	()	
		実績	小学校2校				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内小学校2校に教育用パソコンを整備し、教育環境の充実を図ることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	児童へのアンケートで、ICT機器を活用できたと感じたか(80%以上)を含め、ICT機器の活用のあり方を検証	目標	()	(80%以上)	()	()	()
		実績		84.5%			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	事業完了が年度末になったことで、児童がICT機器に触れる時間は少なかったものの「ICT機器を活用できたと感じた」の割合が8割を超える結果となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童へのアンケートで、ICT機器を使った授業について「分かりやすい」「授業を増やしてほしい」との回答が多数を占め、端末操作技術などの向上が図られた。 ・ICT機器の環境が整ったが、機器を有効活用した授業の実践に繋げる研修会を開催する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果を踏まえ、各学校でICT機器に触れる機会を増やす。 ・教員間でお互いにICT機器の活用事例を共有し、授業での活用度を上げる。

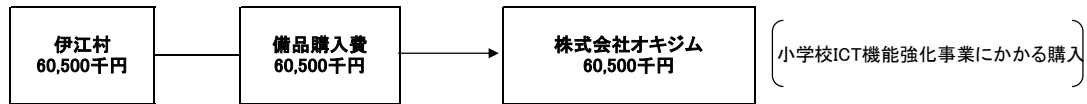
今後の取り組み方針

・整備したICT機器の活用により、児童の興味・関心を高め、学習意欲や情報端末操作技術を高める。

・ICT機器を効果的に活用した授業実践等について、教員間で情報共有や研修会などを開催し、「より分かる授業」に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
60,500	60,500	42,350	18,150	0



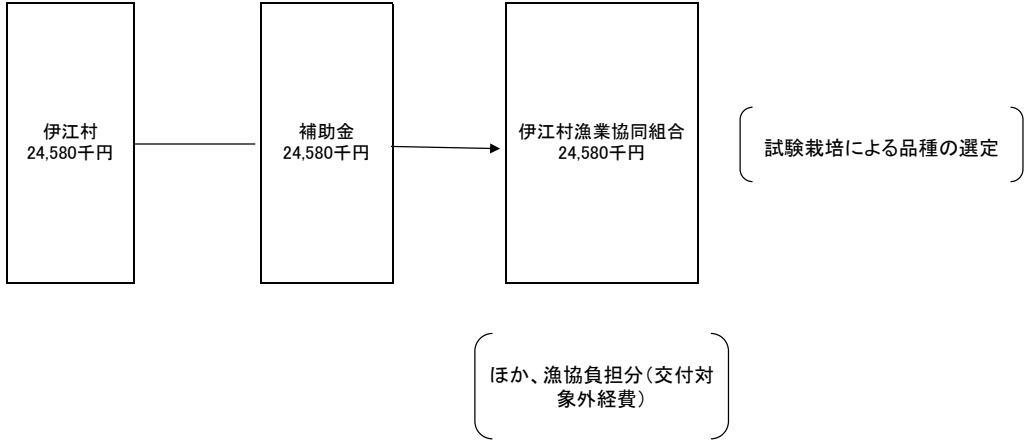
資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業者は指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、見積書等で必要最小限に抑えた適正な規模である。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものであるか等、支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊江村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	離島における陸上養殖可能性調査事業	沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-(イ)			
担当部署名	伊江村役場 農林水産課	事業実施 (予定)年度	令和元年度～令和2年 度	沖縄振興基本方針 該当箇所	農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	本村において、モズク養殖を行っているが気象変動により養殖環境が悪化し安定生産が見込めないことから、スジアオノリの試験栽培に取り組むことで、本村に適した品種を選定し養殖を実施し漁業の振興を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		24,684				
			24,580				
			▲ 104	0	0	0	0
			—				
		B. 執行済額	24,580				
		うち交付金充当額	19,664				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	予算の範囲内で適正な執行を行った。なお、不用額104千円については、入札残によるものである。				
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	試験栽培の実施	目標	(試験栽培の実施)	()	()	()	
		実績	試験栽培の実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 取水の確保のため、取水缶1本の確保を行った。 陸上養殖プラントの設計を行った。設計に時間を要したため、工事については2期に分け行うこととした。 陸上養殖実証プラント工事(1期)を行った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値 (年度)	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)		
	試験栽培による品種の選定	目標	()	(品種の選定)	()	()	
		実績		品種の選定完了			
	【R3成果目標】 調査結果を踏まえて精算量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖を実施する。	目標	()	()	()	()	
		実績				生産量目標値を設定し、当該数値を目標とした陸上養殖	
	進捗状況説明	品種の選定については、秋～春の品種については、内地の品種でも対応ができるが、5月～10月頃にかけては、内地の種だと生育するが、収穫のタイミングに苦慮した。アドバイスを頂いている専門家からは、内地の種でも栽培方法等を工夫することで、可能ではないかと助言を頂いている。また、沖縄種についても現在栽培を行っており、栽培については可能であるが、商品としての価値がどれくらいになるかについては引き続き調査を行う。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・年度内で実証プラント工事を完成させる予定ではあったが、取水管の設置や設計に時間を要し、年度を挟んでプラント工事を行うこととなった。これまで県内には無い品種の栽培になることから、内地での栽培方法や専門家の意見等を参考にし、沖縄に適したプラントの設計になった。予定にはなかった夏場の栽培試験等を行えたことは、今後の試験に繋がるものだと考えている。</p>	<p>・令和2年7月には、実証プラント工事のすべてが完了する。一部完成している部分では、4月から栽培試験を行っており、プラント全体での栽培試験については完了後すぐに取り組める状況にある。内地種や沖縄種の栽培については、夏場の試験により適正種を選ぶ必要がある。沖縄での種苗の保管に課題があるため、種苗の保管についても今後改善して取組んでいきたい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・冬場の生育については、これまでの試験栽培において一定の成果が得られているため、夏場の栽培方法や種苗の選定等を行うことで、年間を通した栽培に向けて取組む。また、今後の陸上養殖施設整備に向けて課題等を抽出し、改善方法の検討、解決に向けて取組んでいきたい。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金	伊江村負担金	
30,725	24,580	19,664	4,916	6,145



資金の流 れ、費 目・ 点検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	<input type="radio"/>	支出先の選定方法は妥当か。	○陸上養殖可能性調査業務にあたっては、村内唯一の陸上養殖の経験がある伊江漁協へ補助金を支出しており、妥当であったと考える。
	<input type="radio"/>	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、目的に即した事業内容で実施されていることから、適正であると考えている。
	<input type="radio"/>	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である漁協は、総事業費の2割を負担しており、事業内容から判断して妥当であった。
	<input type="radio"/>	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途に関しても検査した結果、適正と判断した。

市町村名		伊江村				
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	9-①	伊江村パークゴルフ場整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)
担当部署名	政策調整室	事業実施(予定)年度	令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入態勢の整備
事業内容	新たな観光メニューとしてパークゴルフ場を整備し、滞在型観光への取り組みの強化を図る。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	(a)当初予算額	29,660				
	(b)予算現額	38,272				
	(c)増減額(b-a)	8,612	0	0	0	0
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	38,272	0	0	0	0
	B.執行済額	38,272				
	うち交付金充当額	27,446				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	当初の事業計画後に、県内パークゴルフ場との比較及び利用者が快適にプレー出来る環境の整備が必要と考え、実施設計の段階でコースの幅を2mから4m幅へ変更したことによる芝張り面積の増加などにより、8,612千円増額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度			
	パークゴルフ場整備工事の実施設計	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
	パークゴルフ場整備工事の実施	目標	(実施)	()	()	()
		実績	実施			
達成状況説明	伊江村パークゴルフ場整備に係る実施設計業務、整備工事を実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	目標値(R2年度)		
	パークゴルフ場整備工事の実施設計の完了	目標	()	(完了)	()	()
		実績		完了		
	パークゴルフ場整備工事の完了	目標	()	(完了)	()	()
		実績		完了		
	【R2成果目標】 令和2年度利用者数	目標	()	()	(15,150人)	()
実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度において、伊江村パークゴルフ場の実施設計及び整備工事の完了。 令和2年度より供用開始、観光客の誘客及び村民の健康増進施設としての利用を促す。 					

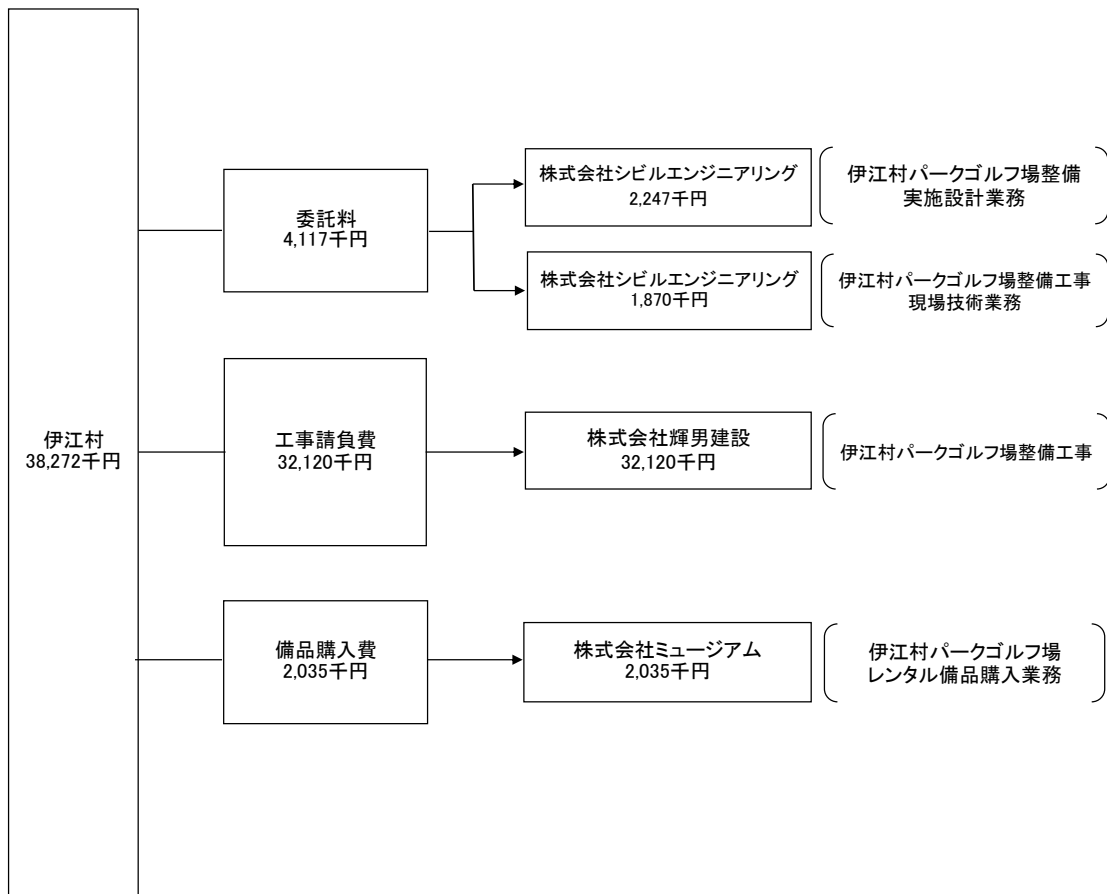
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光施設及び健康増進施設としてパークゴルフ場が整備されたことから、既存のハイビスカス園と連携した滞在型観光への取り組み及び、村民の施設利用による健康増進の施策を検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客及び村民に向けた周知及びイベント等の実施を検討する。

今後の取り組み方針

・観光誘客に関しては、日本及び沖縄県パークゴルフ協会などの協力も得ながら広報活動等を行い利用者の増を図る。
 ・村民に関しては、小学生からお年寄りまで幅広い年代でプレーできるメリットをPRイベント等の実施を行いながら利用者の増を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,272	38,272	27,446	10,826	0



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事、備品購入の業者選定は一般競争入札により実施し、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、当初計画からの変更もあり8,612千円の増額があったもの一般競争入札により適切な規模で実施できたと考えています。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目、用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定において検査、確認しており適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊江村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	伊江村多目的交流センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ		
担当部署名	政策調整室	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	本村が取組むスポーツコンベンションを推進するとともに、合宿や教育旅行民泊の受入れ人数の増加を図ることを目的として、伊江村多目的交流センターの基本構想を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	13,000	4,939			
		(b)予算現額	14,000	4,796			
		(c)増減額(b-a)	1,000	▲143	0	0	0
		(d)繰越額	-	-			
		A.計(b+d)	14,000	4,796	0	0	0
		B.執行済額	9,936	4,796			
		うち交付金充当額	7,948	3,836			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	71.0%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	執行率は100%となっており、当初予定していた業務を計画どおりに実施することができた。なお、143千円の減額については、入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	伊江村多目的交流センターの基本構想の策定	目標	(基本構想の策定)				
		実績	基本構想の策定完了				
	伊江村多目的交流センターの基本計画	目標	(基本計画の策定)				
		実績	基本計画の策定完了				
達成状況説明	基本構想で検討した施設規模、事業スキームなどを基本計画でとりまとめを行い活動目標であった基本計画の策定を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
		伊江村多目的交流センターの基本計画の完了	()	(策定完了)	()	()	()
		実績		策定完了			
	【参考指標】 【成果目標設定の考え方】 基本構想、基本計画等を踏まえて目標受入れ人数や施設稼働率等を設定する。	目標	()	()	()	()	目標受入れ人数を設定し、当該数値を目標とした施設運営
		進捗状況説明	・成果目標である計画策定に向けて、施設整備スケジュールの変更を行ったほか、施設整備規模等の施設計画を作成した。また、概算工事費の算出や収支計画の策定を行い、今後の施設整備に向けた基本要件を整理した。更には村内の既存宿泊施設等との協議を行うことによって今後の施設整備に必要な条件等を明らかにすることができた。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・施設の配置計画等の策定を行ったが、今後の実施設計の段階においては、類似施設等との比較等を詳細に行うことによって、より利用者の立場で利便性と魅力のある施設となるよう取組む必要がある。</p> <p>また、誘致活動との連携により村全体の滞在型観光客を増加させるために必要な項目や具体的な連携スキームの構築に取組む必要がある。</p>	<p>・施設の完成までには実施設計と工事期間による一定の時間があることから、基本計画において課題となった誘致活動など滞在型観光客を増加させるために必要な具体的な取り組みスキームを引き続き検討していく必要がある。</p> <p>また、施設完成までの期間を利用し近隣市町村とも連携してスポーツ合宿を誘致できる体制が整備できるよう、北部地域が一体となったスポーツコンベンションの誘致に向けた協議を行い、事業効果の発現を高める取り組みを行う必要がある。</p>

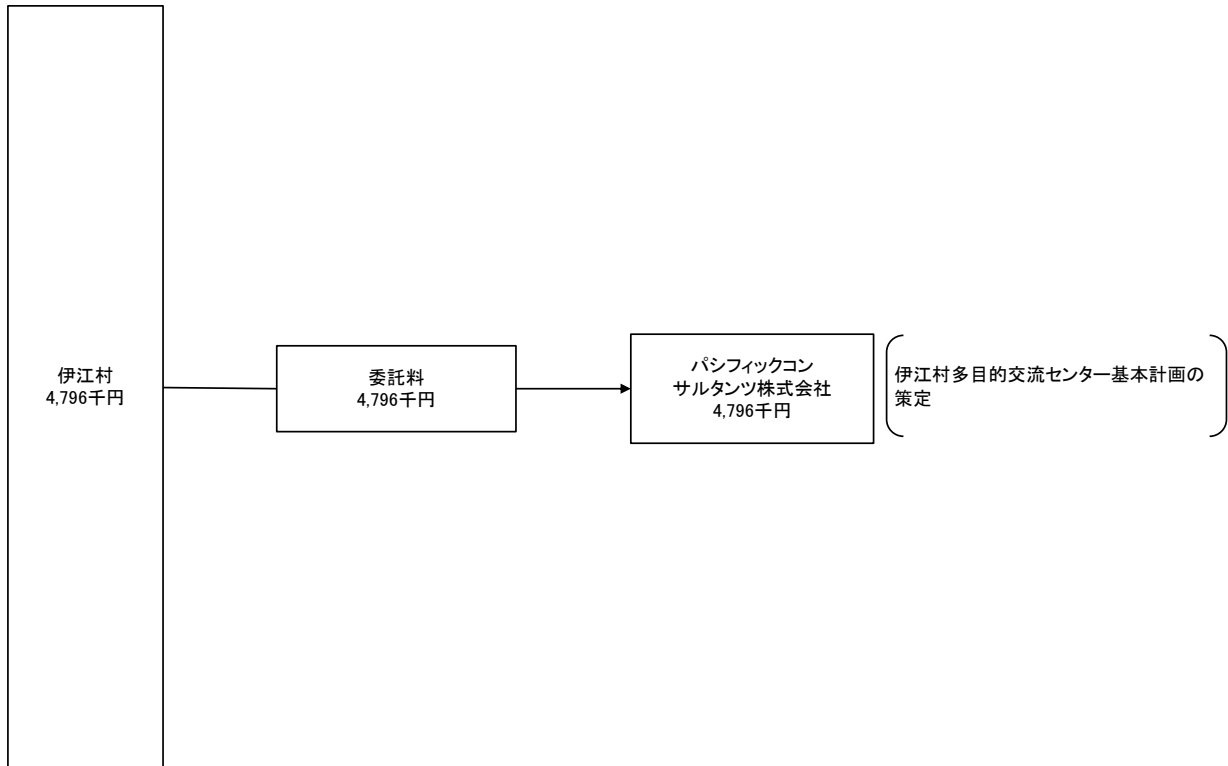
今後の取り組み方針

・基本計画の策定が完了し、今後は実施設計と施設整備に約2年の期間を要することから、村全体の滞在型観光客を増加させるために誘致活動や必要な具体的な連携スキームの構築を図る。

更には、北部全体でスポーツコンベンションが誘致できるよう、ワンストップの相談窓口を設置するとともに、近隣市町村が一体となった取組体制が整備できるよう、その協議を行う推進協議会等の設置に向け取組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,796	4,796	3,836	960	0



資金の用途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定されており、妥当であったと考えている。 ○執行率は100%であり、落札率の結果であり妥当であったと考えている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	